



# 港川初優勝

男子決勝 港川―神森 前半、港川の三輪将太郎が1点目のゴールを決める。東風平運動公園体育館(城間陽介撮影)

## 守りからリズム 後半逆転

港川が神森との決勝を25―22の逆転で制し、初優勝を飾った。立ち上がりはサイドを攻められ、最大6点差をつけられた港川だったが、前半残り5分から下田亨平の速攻やエース三輪将太郎のロングシュートなどの5連続ゴールで1点差まで詰め、折り返した。後半は互いに譲らず一進一退。港川のゴールキーパー島袋貴弘が要所で好セーブ。キーパーからの速攻も何度も決まり、守りからリズムをつくった。後半終盤、同点から比嘉盛秀、下田、三輪の3連続ゴールで3点差をつけて、勝負あり。チーム最多の7得点と活躍した三輪は「1年のころから勝てなかった神森にリベンジできてうれしい」と喜んだ。「練習していたディフェンスからの速攻、特にキーパーからのパスにポストとセンターがよく走ってくれた」と勝因に挙げた。長嶺重信監督も「いつも言っているラスト5分の勝負で頑張ってくれた」と初優勝に感慨深げ。「これからのチーム。勝負はここからだ」と繰り返し、さらなる成長に期待した。(石川亮太)

### 中学秋季ハンド

ハンドボールの第7回八瀬瀬町長杯争奪・第32回県中学校秋季大会最終日は15日、同町東風平運動公園体育館で行われ、男子決勝は港川が25―22で神森に逆転勝ちし、初優勝に輝いた。女子決勝は仲西が20―9で松島を下して、2年ぶりの栄冠。

# 女子は仲西

女子決勝 仲西―松島 後半開始直後、仲西のエース仲西明夏がチームを勢いづかせる11点目のシュートを決める



仲西	7	8	14	東
松島	9	6	15	森
美東	10	15	22	神森
仲西	10	5	9	松島
西	10	5	9	松島

### ミス誘い

### 速攻連発

女子仲西は、松島の前線でのパス回しに積極的に飛び込んでミス誘い、速攻で得点を重ね、20―9の快勝で栄冠に輝いた。

5点リードで後半を迎え、立ち上がりからエース仲西明夏の中央突破や金城ありさの速攻などで5連続得点し、一気に勝負を決めた。

ス仲西は「パスが合わなかったり、一人一人のやりたいたことがばらばらで指示が通らなかったところもあった」と反省。追われる立場になったことで「もっとセ

走り込んで、高さがなくて勝てるチームにしたい」と、気を引き締めた。ディフェンスでの当たりの好評価した上原卓也監督も「優勝はしたが、細かいミスが多かった。特に声

出いてなくて、元気が足りなかった」と指摘。活気あるプレーを課題に挙げた。

【男子】	港川	29	21	8	西
▽準決勝	神森	10	6	19	真志川
▽3位決定	真志川	28	13	14	西
▽決勝	港川	25	13	14	西
【女子】	港川	25	13	14	西
▽準決勝	神森	10	6	19	真志川
▽3位決定	真志川	28	13	14	西
▽決勝	港川	25	13	14	西